

三谷八幡神社のホームページは右のQRコードから



小山両社祭連合渡御にあたっては、以下の点に注意して、楽しく盛大なお祭りにしたいと思います。尚、各神輿会責任者及び実行委員朱半纏の指示に従ってください。

- ・各町会指定の半纏および帯着用でご参加下さい。腰半纏は禁止です。
- ・酒気を帯びての渡御は禁止させていただきます。
- ・特にベビーカーを押している方は、隊列から外れてください。
- ・神輿の前を横切らないでください。

- ・神輿にあまり近づきすぎないように注意して下さい。
- ・ベビーカー等で見物されている方は、廻りの方に注意をしてください。
- ・荏原警察署、荏原消防署、荏原消防分団の指示にも従ってください。

御渡順路

※各神輿はバルム商店街より第1会場へ集合

武蔵小山

第1会場

バルム商店街

26号線通り

銀座通り

東急目黒線

三谷八幡神社

桜並木通り

第2会場

西山商店街

西山

小山八幡神社

注：当日通行止めが多数ありますので、車を運転の方は標示にご注意願います。

注：当日通行止めが多数ありますので、車を運転の方は標示にご注意願います。



御祭神は誉田別尊（ほんだわけのみこと）
創立年月日は不詳。社伝に鎌倉幕府の
頃とある。口伝では長元3（1030）年
には武蔵国荏原郡（ごおり）小山村
全体の氏神として崇敬されたという。
小山の名は境内の小丘（古墳跡）から
きていて、品川区随一の高台で見晴ら
しが良い。



小山八幡神社のホームページは右のQRコードから

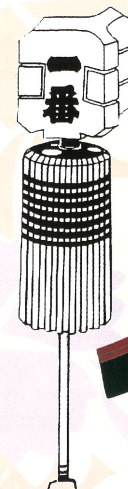
「小山両社祭神輿連合渡御」とは
「小山八幡神社」「三谷八幡神社」の両神社
共同の祭礼が「小山両社祭」と呼ばれその
ハイライトとして2日目の夜に両神社氏子
である周辺の六町会1団体が繰り出す神輿
とお囃子、手古舞等が武蔵小山から西小山
までのコースを連合で渡御する。
品川百景にもなっている小山両社祭神輿連合
渡御も本年37年を迎へさらに歴史ある祭礼と
なっていくことだろう。

令和 6 年 9 月 1 日 (日)
午後 5 時より午後 7 時 15 分
武蔵小山駅前広場から西小山駅前広場

集合	武蔵小山駅前広場	
出御式	午後５時２５分	
出御	午後５時４０分	
到着	西小山駅前広場	午後７時
還御式	午後７時１５分	

(一般・社)江戸消防記念會

第七區二番組



昭和27年に明治の時代からあった、旧消防組が改組され、昭和29年の記念会発足時より参加している。受持区域は、小山、荏原、中延、戸越などで、その纏は平塚の平の字にちなんでいる。

小山六丁目

六親會



昭和58年浅草宮本卯之助商店作
2尺1寸5分台輪の神輿に2尺5寸仕様の装飾が豪華に付いています。神輿には干支の動物や龍の彫り物が有り、鳳凰の瞳にはダイヤモンドが入っています。

小山五丁目

五友會



昭和51年 木更津中村宗之助作
台輪2尺3寸 高さ2m30cm
白木造りで唐破風の屋根が特徴
鳥居や四方の蕨手に龍を抱かせている
飾り紐は鮮やかな浅葱色
毎年除夜祭でも担がれている。

荏原五丁目

豪龍會



昭和26年 本行徳十六代浅子周
慶神輿師作台輪1尺8寸半世紀を
超える最も伝統ある神輿です
屋根延神社型吹返し紋に荏五飾り
紐は鮮やかな朱色龍蕨手神輿に特
殊なライトアップを施す。

荏原四丁目

鳳和會



平成2年上州神輿製造協同組合作
台輪2尺3寸高さ2m10cm
重さ約300kg。彫刻や拵組に金箔を
使用した総漆塗り仕上の神輿です。
屋根紋は一般的な巴紋ではなく荏四の
紋を施しています。

小山四丁目

鳳友會



昭和55年木更津の中村宗之助作
総漆塗り屋根と台輪には青貝を入
れて仕上げた、台輪2尺3寸鳳凰は
一回り大きい物、彫り物は友白髪
の意味をもった老夫婦の人物画が描
いて有ります。見て下さい。

荏原七丁目

昇龍會



昭和61年群馬県上州神輿組合作
台輪2尺3寸高さ2m20cm平成
25年リニューアルにより全体の
輝き装飾も一新し豪華に生まれ変
りました。是非近くに来て見てくだ
さい。

武蔵小山パルク

神輿會



小山両社祭最大のお神輿です。
昭和53年宮師中村宗之助作
屋根延神社型(江戸風白木造・部分
漆塗り様式)台輪2尺8寸高さ2m25cm
平成19年大神輿修繕・飾り紐新調
武蔵小山商店街振興組合が母体です。